



実習生指導担当者 様

日本大学生産工学部

●●学科主任



## 実習生の取り組みに対するご支援と評価のお願い

このたびは実習生のお受入れ、ならびにご指導をご承諾いただき誠に有難うございます。現在、実習生は安全・倫理やビジネスマナーに関する講習に加え、自己分析、企業研究および目標設定等に取り組み、貴重な実習経験からより多くの「気付き」と「学び」が得られるよう事前学習に励んでいます。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、実習の開始前、実施期間、終了後におかれましては、下記内容をご確認のうえ、実習生の取り組みに対するご支援と評価を賜りたく、ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。

### 【実施開始前】

#### ● 事前学習・準備のご指導

実習生のプロフィール（連絡先、持ち味、自己評価、成長目標等）を生産実習 SYSTEM の「実習生情報」よりご確認ください。事前に必要な学習・準備等がございましたら、指導担当者様より直接メールまたは電話にてご指導いただきたくお願いいたします。また、実習プログラムや指導内容等をご検討の際には、実習生の成長目標を踏まえて、達成に向けた具体的なお支援とご指導を宜しくお願いいたします。

※生産実習 SYSTEM へのログイン方法および実習生情報の確認方法は、実習生受入れの依頼時に送付した「生産実習・同 (S) 概要説明書」の P. 18 に記載されています。

※「生産実習・同 (S) 概要説明書」は、本学部ホームページよりダウンロードすることが可能です。

生産工学部ホームページ(<http://www.cit.nihon-u.ac.jp/>)⇒「企業・研究者の方」⇒「産学交流」⇒「生産実習受け入れ協力をお願い」

※生産実習 SYSTEM にログインされる際は、以下の ID・Password（貴機関専用）をご使用願います。

《生産実習 SYSTEM ログイン用 ID: \_\_\_\_\_ Password: \_\_\_\_\_》

### 【実施期間】

#### ● 安全と倫理のご指導

安全と倫理（守秘義務等）に関しては、事前学習（参考：概要説明書 P.4）においても指導しておりますが、現場・職場ごとの留意点や実務に沿った安全・倫理上の注意点、成果物（大学に提出する成果報告書類）に記載可能な内容等について具体的なお指導をお願いいたします。

#### ● 実習日誌のご確認

実習生は成果報告書類のほか、毎日の終業時に「実習日誌」を通じた振り返りと指導担当者様への報告・連絡・相談を実習期間の日課としています。お手数ですが、実習日誌のご確認（押印またはサイン）とコメント（ご指摘やご助言等）を頂戴したく、ご支援をお願いいたします。

## 【実習終了後】

### ● 実習生の取り組みに対する評価（実習終了後 10 日以内）

実習生の取り組みに対して、実習開始時（開始から 3 日間）および終了時（終了まで 3 日間）を対象に、以下の評価基準・方法に沿って「ジェネリックスキル」と「テクニカルスキル」の両面から採点をお願いいたします。また、各評価とともに取り組みに対する全体的な所見と助言を実習終了後 10 日以内に生産実習 SYSTEM からご登録願います。

※生産実習 SYSTEM への評価の登録方法は、「生産実習・同（S）概要説明書」の P.10 に記載しています。

※生産実習 SYSTEM にログインされる際は、表面の ID・Password（貴機関専用）をご使用ください。

#### ➤ ジェネリックスキルの評価

実習開始時・終了時の取り組みで発揮された実習生のジェネリックスキル（社会人に求められる汎用的な業務遂行能力）を社会人基礎力（経済産業省）の指標に基づき各 8 段階で採点願います。

評価基準細は、生産実習 SYSTEM の採点欄（概要説明書 P.24）から直接ご参照いただけますので、事前にご確認のうえ、ご指導いただきたくお願いいたします。

※「ジェネリックスキルの評価基準」は、本学部ホームページよりダウンロードすることが可能です。

#### ➤ テクニカルスキルの評価

実習全体を通じて発揮された実習生のテクニカルスキル（技術者に求められる専門的な業務遂行能力）を以下の①～⑧の観点から各 5 点満点で採点願います。

- ① 専門業務に対する興味や関心を持って、主体的かつ意欲的に取り組みましたか？
  - ② 安全と倫理に配慮し、職場・現場のルールを遵守して業務に取り組みましたか？
  - ③ 専門業務に必要な知識・技能を理解し、それを活用しながら取り組みましたか？
  - ④ 必要に応じて適切な手段で報告・連絡・相談しながら業務に取り組みましたか？
  - ⑤ 職場・現場の環境に適合しながら、技術者として協働することができましたか？
  - ⑥ 職場・現場の制約条件のなかで問題の発見や解決に積極的に取り組みましたか？
  - ⑦ 業務を通じて気付きや学びを得ながら、次の経験に生かすことができましたか？
  - ⑧ 自らの職業観を養い、将来展望を見据えながら、専門業務に取り組みましたか？
- （良くてきた：5、できた：4、どちらともいえない：3、できなかった：2、全くできなかった：1）

#### ➤ 所見について

所見は、本学科学生に対する外部評価として、さらなる教育改善の資源とさせていただきます。所見欄には実習生に対する評価の根拠に加え、実務で発揮された実習生のスキルに基づき、本学の技術者教育に対するご提案・ご要望等をお聞かせいただきたくお願い致します。

#### ➤ 助言について

助言は、実習生のさらなる成長を助けるアドバイスとして、実習生本人にフィードバックさせていただきます。なお、実習生は、指導担当者様からいただいた助言を事後学習で確認し、実習の振り返りと将来展望の資源として活用します。

※Web からの採点登録が困難な場合は、学部ホームページより「実習生に対する評価・所見票」をダウンロードいただき、別紙「実習生派遣の通知およびお受入れのご準備について」の連絡先へメールまたは FAX にてご送付願います。

### ● 成果報告書類の確認・承認（9 月中旬～10 月下旬頃）

実習生の成果物（実習成果報告書・同概要、成果発表資料）を生産実習 SYSTEM より共有させていただきます。成果物のアップロードが完了後、紙面またはメールにて通知いたしますので、内容の適否をご確認のうえ、生産実習 SYSTEM からご承認をいただきたくお願いいたします。